

ひがしね 議会だより

HIGASHINE GIKAI PUBLIC INFORMATION...No.122

2022
8.1



特集

健康づくりと市議会



東根市議会

検索



いきいき百歳体操のようす

特集

健康づくり と 市議会

年を重ねると体力や筋力の低下に伴い、自然に外出機会が減る傾向にあります。

外出機会が減ると、足腰が弱くなる可能性が高まり、ますます外出がおっくうになってしまいます。

週1回以上の外出により、社会参加すること、生きがいを持つことで、体力や筋力の低下を改善したり、予防したりできます。

今回の特集は、そのような社会参加活動の一つである「いきいき百歳体操」を取り上げます。



いつまでも住み慣れた地域で 笑顔いっぱい 元気に暮らすために!!

いきいき百歳体操とは

高知市が開発した住民主体の介護予防活動です。動画（DVD）を見ながら、手首や足首におもりをつけて、ゆっくり体を動かす体操で、椅子を活用しながら、1回40分程度で気軽に取り組むことができます。

また、つけるおもりは、1つ（200g）から最大で5つ（1kg）まで、体力や筋力に合わせて重さを調節することができます。

今回は、いきいき百歳体操（以下「百歳体操」）に取り組み

グループをサポートする、生活支援コーディネーター（以下「コーディネーター」）の方々と、百歳体操を始めて6カ月経過するグループと始めたばかりのグループの方々に、それぞれ話を伺いました。

市とコーディネーターの サポート内容は

コーディネーター 市では、3人以上のグループ（65歳以上が1人以上）を対象に、週1回以上開催し、6カ月継続することを条件として、必要となるおもり、DVD、DVDプレーヤー

等を貸与する「通いの場立ち上げ支援事業」を行っています。

さらに、6カ月継続できた場合は、貸与したものをプレゼントしています。

コーディネーターは、実際に立ち上げる方への支援として、体験会や講話、毎月1回程度の訪問などを行っています。

また、開始時と6カ月後に簡単な体力測定を実施しており、体力や筋力を数値化することで、体操が集まることへの意欲アップを図っています。

市内の取り組み状況は

コーディネーター 市内で百歳体操に取り組んでいるグループは15グループあり、高齢者の「通いの場」の創出に繋がっています。

取り組んでいる方々の 感想

【達者な集い】
※6カ月経過するグループ

●週1回の楽しみになっていて、筋力がついた。

今回お話を伺ったグループ



【達者な集い】 神町・大森山南

- ・日時 毎週月曜日 午前10時
- ・場所 大森山南公民館



【はつらつ体操クラブ】 東根・新田町

- ・日時 毎週金曜日 午前10時
- ・場所 新田町公民館



使用するおもり

- 近所の方と一緒になので、終わった後に趣味の話をして、笑いながらやっている。
- 毎日では続かないが、週1回なら継続出来て楽しい。
- 半年間続けたら、おもりを5個つけるまで筋力が付いた。
- 休むと身につかなくなる気がする。
- このグループで年長者だが、とても楽しく参加している。
- 家にいたら、なかなか出来ないことだと思う。
- 地元の方と楽しみながら、皆出席を目指したい。
- 以前、体験に参加したことがある。百歳体操のネーミングが気に入っている。
- コロナで外出機会が少ない。家の中では身体を動かす機会がない。
- 気を抜くと体力が低下しそう。体力を維持したい。
- 怪我をしているが、他の参加者の手助けがあり、助かっている。

【はつらつ体操クラブ】 ※始めたばかりのグループ

2つのグループにお話を伺い、どちらも住んでいる地域に愛着がある印象を受けました。

そして、その全員が心身ともに元気で、何よりも笑顔が素敵で、同じ地域の方々と集まり、楽しく会話できる「通いの場」として機能していることを実感しました。

百歳体操は3人以上で申し込みができ、「どこでもできる」ことがメリットです。グループのどなたかの自宅で行うこともできます。

コロナ禍で外出する機会が減るなか、健康寿命の延伸のため、また、介護予防のために、ぜひこの機会に百歳体操に取り組んでみてはいかがでしょうか。

議会としても、こうした地域の活動に目を向け、今後とも皆さまが、健康で、長生きできるような活動の充実に向けて取り組みます。



東根市のこんなことが決まりました

●会期 6月3日～6月16日

この中から3項目を **ピックアップ!**

議論された案件

専決処分の承認・・・4件
補正予算・・・2件
同意人事・・・2件
陳情審査・・・1件

条 例・・・3件
事件決議・・・3件
請願審査・・・2件
委員会発議・・・1件

※詳細は、市ホームページから確認できます。

【賛否が分かれた議案】

請願第9号 「消費税インボイス制度の実施中止を求める意見書」を政府に送付することを求める
請願書

会派名	ひがしね創生会			政清・公明		新会派令和					ひがしね市政クラブ		自民クラブ		無会派			
議員名	高橋 鉄夫	細矢 俊博	清野 忠利	河村 豊	原田 利光	東海林克彦	三宅 一人	高橋 弓嗣	滝口 公一	元木十四男	片桐 勝寿	齋藤俊一郎	浅野目幸一	佐藤 直	植松 宏	山科 幸子	白井 健道	高橋 光男
賛否	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×	議

○＝賛成 ×＝反対 ※議長は採決に加わりません。

ポイント1



『東根市西部防災センター』に
名称が正式決定しました

議第42号

東根市西部防災センターの設置及び管理に関する
条例の設定について

本市西部地域の防災拠点となる「東根市西部防災センター」の整備に伴い、公の施設とすることなど、関係規定を定めたもので、全会一致で可決しました。

こんな質疑がありました

議員 条例に定める本施設を使用しようとする者とは、どのような方や団体を想定しているのか。

総務部長 自主防災会や自治会、消防団活動を始めとする市内各地域の防災啓発等を行う団体に対して広く利用できるよう配慮したい。

議員 施設の管理運営と受付窓口はどこか。

総務部長 総務部危機管理室が担当する。平時に職員は常駐しないが、災害時は避難所の開設や運営に係る担当職員を即時配置する。



▲完成間近の「東根市西部防災センター」

議員 この施設は災害発生に備えたものであり、有事の際は最大限にその機能を発揮できるよう防災の啓発や訓練に努めて欲しい。

また、施設の紹介や普段からの備えについて、多くの方々に周知されるよう、PRをお願いする。

ポイント2



請願の審査結果は不採択となりました

請願第9号

「消費税インボイス制度の実施中止を求める意見書」を政府に送付することを求める請願書について

請願趣旨

令和5年10月から実施されるインボイス制度について、中小事業者やフリーランスの消費税負担の増加に繋がるため、実施中止を求めるもの

審査の経過

インボイス制度は、消費税の複数税率に対応した仕入税額控除の方式で、制度の大きな目的は、取引における消費税を正確に把握すること。

委員会審査では、「制度の目的を達成するための有効な手段と認識。請願の趣旨には納得できない。」「制度移行にあたり、新たな事務的負担が生じるとされているが、6年間の経過措置があり、十分な準備期間がある。」「等の意見があり、全会一致で「不採択」となった。

本会議では、賛成討論を経て、賛成少数で「不採択」となった。

賛成討論

インボイス制度が実施された場合、現在の消費税免税事業者も課税事業者になることを選択させられる。

世界の86カ国が、コロナ禍による経済情勢の悪化により、消費税のような付加価値税を減額している。

この制度の導入による新たな消費税の徴収は、消費者に新たな負担を求め、景気をますます冷え込ませることに繋がる。

ポイント3



請願を採択し、国に意見書を提出することについて可決しました

請願第8号

令和4年度水田活用直接支払交付金の見直しに関する要請

発議第5号

令和4年度水田活用の直接支払交付金の見直しに関する意見書の提出について

請願趣旨

①畑地化した交付対象水田に対し、畑作物生産の維持拡大に向けた施策を拡充すること
②輸入乾牧草価格高騰のなか、牧草については、交付金削減ではなく、生産の維持・拡大に向けて支援すること

審査の経過

委員会審査では、この見直しが財務省の予算執行調査結果を踏まえたものであることから、理解できる部分もあるとの意見があった。

一方、請願にもあるとおり、耕作放棄地や離農者の増加に拍車がかかるおそれがあることから、「願意妥当」、「政府に対して強く意見すべき」との意見がある

なか、補助金に頼らない地元の取り組み、ブロック

用語解説

※ブロックローテーション

田畑転換の一形態。地域内の水田をブロックに区分し、ブロック毎に転作。これを1年毎に他ブロックに移動し、数年間で地域内の全てのブロックを循環させる。

ーテーションなどのシステム構築も重要との意見もあり、採決した結果、全会一致で「採択」となった。
本会議でも採択となり、内閣総理大臣や財務大臣などに意見書を提出することとなった。

●人と動物の共生社会について

本市の畜犬登録数
1972頭!!

人と動物が共生していくために…



高橋 弓嗣 議員

市内の狂犬病の 予防接種状況は

議員 コロナ禍における狂犬病予防接種率と今後の集合接種の在り方を伺う。

市長 接種率は令和元年度が89・0%、令和2年度が85・2%、令和3年度は88・9%。未接種の飼い主には、接種勧奨ハガキを送付し接種を促している。

議員 鑑札や注射済票などのデザインを工夫して欲しい。また集合接種は屋内等を検討してはどうか。

マイクロチップ登録制度の 理解と周知を!!

議員 マイクロチップ登録が義務化されたが、その周知やペット飼養のマナー向上は。

市長 飼い主から離れて野生化すると、地域で繁殖し、生活環境の悪化を招く恐れがある。マイクロチップ装着については国・県と連携して周知を行っていく。ペット飼養マナーについて

では、市報への記事掲載や、フンの持ち帰りを促す看板



▲動物愛護管理法によりマイクロチップ登録が令和4年6月1日から義務化

を配布しているほか、保健所との連携を図っている。

野良猫についての考え方は

議員 野良猫の迷惑な行為を防ぐため、不妊・去勢手術を行い、元の場所に戻し、猫の数を増やさない活動が積極的に進められているが本市の考えは。

市長 無秩序な繁殖を防ぐため、猫への不妊・去勢手術は環境省が推奨している。手術費用に対して補助をはじめている自治体もあり、本市としても今後研究していく。

議員 野良猫への餌やりで食べ残しをカラスが食べ

ているケースもある。カラス対策は。

市長 東北電力の送電線改良工事により、送電線に止まるカラスが減少した。

超音波や天敵の鳴き声を発生させる機器を設置してカラスの集合を防止する取り組みも行っているが、引き続き対策を検討していく。

動物の共生をまちづくりに

議員 社会福祉協議会で行っている「ワンてく見守り隊」などを始め、ペットによるまちづくりにも目を向けて欲しい。



▲東根市社会福祉協議会の認知症見守り支援事業「ワンてく見守り隊」オレンジのバンダナが目印

一般質問

皆さんの生活に関する内容について、議員が市に質問しました。

●軽自動車税（種別割）の 納期変更について

市民課所管業務

●マイナンバーカード・ 住居表示について



山科 幸子 議員

軽自動車税の納期限変更を

議員 軽自動車税は4月1日現在の所有者に課税され、納期限は4月末日である。賦課期日前後の登録や廃車等の状況はどうか。

市長 例年3月が最も多く、今年3月の新規登録は423台、名義変更は67台、廃車は549台である。

議員 □座振替納付の状況はどうか。

市長 今年度の対象件数の4割が□座振替である。

議員 今年の□座振替は納期限日の5月2日であった。連休で10日程度要する車検用納税証明発行や、適正課税のため、納期限を変更すべきではないか。

市長 国は来年1月実施に向けオンライン化を進め、納税証明書の提示が不要となる見込み。その状況を踏まえ検討する。

議員 納税情報は引き続き必要である。県内自治体は5月末納期限が主流、早急に納期限変更を要望する。

県内市等の軽自動車税（種別割） 納期限状況

4月末	東根市 長井市	上山市	村山市	尾花沢市
5月末	山形市 新庄市 近隣町：河北町	米沢市 寒河江市	鶴岡市 天童市	酒田市 南陽市

各市町ホームページより調査

*納期限が土日祝日の場合は金融機関の翌営業日

市民課①マイナンバー カードについて

議員 デジタル社会の基礎となるカード取得について、首相は自治体での取組みを強力に進めるよう要請した。本市のカード交付率や取得向上策について伺う。

市長 4月末現在交付率は39・51%で、県内13市の平均を上回っている。交付円滑化計画では本年度中100%取得を目指し、周知広報のほか公民館、商業施設等で出張窓口を開設する。

②住居表示について

議員 住所をわかりやすくするための住居表示だが、一部で表示番号が大きかったり枝番が多くなったりしている。近年は農地の宅地分譲が活発だが、住所付番状況と新たに住居表示を実施する予定があるか伺う。

市長 毎年200件前後、住居番号を付番している。今後の実施は、宅地開発の動向を注視し検討していく。

議員 市民課所管の業務は広範囲で多大、市民の権利や生活に密接にかかわる。人事的配慮や組織改編を検討いただきたい。



▲マイナンバーカード申請支援（東郷公民館）

●第11次東根市交通安全計画 における交通安全対策について

東根市における消費者行政

●成年年齢引き下げに伴う 取り組みは？



元木十四男 議員

本年3月第11次東根市
交通安全計画が策定された

議員 前計画期間の検証と第11次計画における変更点は。

市長 第10次計画期間においては、交通事故発生件数は減少したが、高齢者が関連する事故の割合は増加した。

また、幹線道路や交差点での事故発生割合が高いことから、第11次計画においては、高齢者及び子どもの交通安全対策、交差点における交通事故対策などを重点項目とした。

議員 高齢者の交通安全についてさらなる支援が必要と考える。高齢者の免許保有率及び自主返納者数と支援事業の内容と、その申請数は。

市民生活部長 令和3年末の65歳以上の免許保有者数は8千819人で全体の25・8%。また、昨年中の高齢者の運動免許自主返納者数は212人であった。高齢者の運転による交通事

故防止を目的とした、東根市高齢者運転免許証自主返納者支援事業においてタクシー利用券を交付しており、令和3年度は221件の申請があった。更にその利用期間を2年に延長した。



▲サポカーの主な機能
(踏み間違い時の急発進抑制などをサポート)
出典：経済産業省HPより

議員 国は安全運転サポート車、後付けのペダル踏み間違い装置等の購入を支援するため、サポカー補助金を創設したが、本市独自にサポカー補助金制度を創設してはどうか。

市民生活部長 補助制度の効果もありサポカーの普及が進んでいると捉えている。一定程度その目的を果たし

たものと考えており、国の動向を注視したい。

議員 創設を要望する。

民法改正で18歳から成人になることに伴う取り組みは

議員 啓発や今後の展開、さらに中高生に向けた取り組みは。

市民生活部長 市役所ロビーで政府広報の放映や展示を実施。東桜学館高校で出前講座を予定。18歳となる高校生はもとより、中学生などへの意識付けが重要であり、関係機関と連携を密にする。



▲成年年齢引き下げの啓発コーナー（市役所1階ロビー）

一般質問

皆さんの生活に関する内容について、議員が市に質問しました。

●出水期を迎え土石流災害の危険箇所はないか

●ヤングケアラー

本市の実態は？



植松 宏 議員



災害につながる

盛り土箇所はないか

議員 静岡県熱海市の土石流災害から1年がたち、盛り土に対する県と市の対応が不十分だったと指摘されている。本市において同様の危険箇所はないか。

市長 土砂災害警戒区域の指定は県の業務となるが、本市においては73カ所が指定され、うち58カ所が特別警戒区域に指定されている。熱海市の災害後、全国の盛り土の総点検がなされたが、本市では、災害の危険箇所はなかった。

議員 市が発注する工事から出る建設発生土の対応はどうか。

建設部長 建設発生土は公共事業に流用し、有効利用を図っている。それ以外は、発注者の確認を受け、適切に処理されている。

議員 土石流災害防止からも山林の管理は大事では。経済部長 民有林の伐採は、事前の届け出、報告書等により状況を把握し、指導等適宜対応している。

全国ヤングケアラーの実態調査結果公表！

議員 厚生労働省が令和3年度に小学校6年生を対象に行ったヤングケアラーの実態調査によると、6.5%が家族の世話をしているという結果だった。本市の状況はどうか。

教育長 本市において実態調査は実施していないが、ケアが原因で授業に支障をきたしている児童生徒はいなかった。ヤングケアラーは、家事や家族のケアを子どもが日常的に行っている

ことで、子どもの権利が守られていない可能性もある。今後とも関係機関と連携し、子どもの困り感の早期発見に努める。

議員 支援が必要でも表面化しない特徴があるため、本市でも実態調査するべきではないか。併せて教職員への研修の予定はないか。

教育次長 日々児童生徒と接している、教職員による児童生徒の状況変化の気づき、不登校の要因分析でヤングケアラーの早期発見に繋がると捉えている。研修は、山形県が実施を検討しているので積極的に活用したい。

用語解説

※ヤングケアラー

家族にケアを要する人がいる場合に、大人が担うようなケア責任を引き受け、家事や家族の世話、介護、感情面のサポートなどを行っている18歳未満の子ども

※質問議員が責任を持って原稿を作成しています。

誰ひとり 取り残さない 人にやさしい ●「ひがしね幸せデジタル化」に向けて 品格のあるまちづくり ●「香り高い文化のまち」を目指して



齋藤俊一郎 議員

東根市デジタル変革（DX）
推進計画を策定へ

議員 デジタル化に向け、首長のリーダーシップが問われている。本市の方針は、**市長** デジタル変革推進本部を設置し、東根市デジタル変革推進計画の策定を進めている。この計画に基づき、市民生活を向上させ、行政の効率化を図っていく。**議員** 行政のデジタル化に向けた進捗状況は、**市長** 今年度は、子育て、介護関係の26手続に加え、消防関係の手続をオンライン化していく予定だ。**議員** 高齢者をはじめ誰一人取り残されることなくデジタル社会の恩恵を受けられるよう、よりきめ細かな取り組みを強く求めたい。**市長** デジタルデバイスが生じないよう、例えばプレミアム商品券事業においてスマートフォンと商品券カードを併用するなど、誰もがデジタル技術を受受できるような市民に寄り添った対応をしていく。

東根市版オープンデータ
ベースの導入を検討

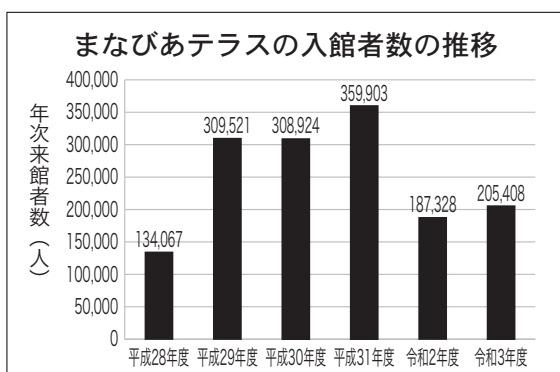
議員 官民の連携・協働を促進していくことが重要だ。今後の取組方針を伺う。**総務部長** 官民がデータを共有し活用するため「市が保有するデータの公開」に向けた調整を進めていく。**議員** LINEアカウントのAI機能や災害用ドローン、デジタル障がい者手帳等、アプリの活用による便利で豊かな市政を求める。



▲デジタル障がい者手帳「ミライロID」

芸術文化を守り
将来に向けた支援を

議員 コロナ禍で芸術文化に触れる機会が減っている。市民の感性を育む芸術



文化は大切であり、このような活動に対する支援が必要と考えるがどうか。**教育長** 感染対策を講じながらコロナ禍における発表の機会の創出に努めていく。**議員** 博物館法の改正を契機とし、評価の高い「まなびあテラス」の調査研究機能を強化する考えを伺う。**教育次長** 展示ギャラリーや一流芸術作品の特別展示などを通じ、市民の芸術文化活動を支援してきた。今後は、博物館適用施設への可能性を指定管理者とともに研究をしていく。

一般質問

皆さんの生活に関する内容について、議員が市に質問しました。

●市営墓地アンケート調査の公表と今後の方向性は？

●ウィズコロナの新局面に市民生活の活性化対策を！



滝口 公一 議員

市営墓地に関するアンケート調査の公表等

議員 令和3年に行われた市営墓地に関するアンケート調査の結果を伺う。

市長 市ホームページでの公開に向けて現在準備中。調査結果は今後分析を進め、将来の墓地の在り方について研究していく。

議員 市報5月15日号で墓地10区画の募集が掲載されたが、前回には無かった改葬希望者を対象とした4区画が用意された理由は。

市民生活部長 これまでは焼骨をお持ちの方を優先しており、改葬希望者には区画を求めにくい状況だったが問い合わせも多かったため一部を割り当てた。

議員 墓地の利用者は年間3千円の管理料を支払っているが、この金額をどう考えているか。

市民生活部長 市営墓地特別会計の収支はバランスがとれており、現時点で管理料を見直す予定はない。



▲市営墓地「大平山みはらし霊園」

コロナワクチン接種率と市民生活の活性化

議員 新型コロナウイルスワクチン4回目接種の対応状況は。

市長 個別接種は順次開始している。集団接種は、3回目を集団接種で受けた方を対象に、日時を指定して7月9日から開始予定。これまで同様、東根市医師会等、医療従事者の協力のもと、市民の利便性に配慮し、接種機会を提供していく。

議員 これまで本市で実施されたコロナワクチンの接種率は。

健康福祉部長 6月6日時点で、12歳以上の3回目の

接種率は77・30%、5歳から11歳の小児の1回目が47・46%、2回目が41・90%となっている。

議員 ウィズコロナに向けて市民生活の活性化をどのように進めていくのか。

市長 地域が持続的に発展するには、住民同士の間によりによる共助の機能を維持し、交流や活動について様々な方法を探り、工夫を凝らして継続していくことが重要である。

市は、こうした相談などに丁寧に応じながら、地域の主体的な活動に対する補助などを通して活性化を支援していく。



▲集団接種会場のようす

一般質問

皆さんの生活に関する内容について、議員が市に質問しました。

●北村山地域の広域連携 市長の考えは？



片桐 勝寿 議員

進む人口減少
行政事務の広域化は不可欠

議員 人口減少社会の中で、持続可能性等の観点から事務事業の広域化が求められている。北村山地域の広域連携の今後のあり方について、市長の考えは。

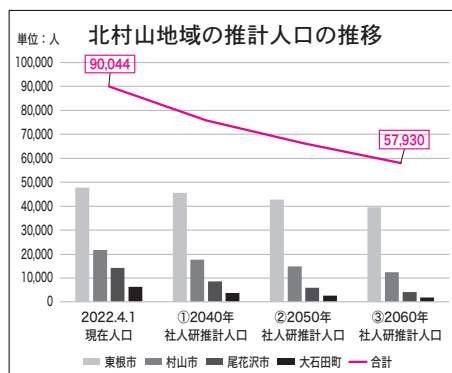
市長 北村山三市一町は共通する課題の解決に向かって、この枠組みの中で処理してきた伝統があり、私はまずこれを継承していく責務があると思っています。

その最たるものは、北村山公立病院である。住民の希望の第一は、医療と介護の充実であり、同病院の建替えは急務である。財源の問題等、ハードルは高いが果敢にクリアしていきたい。

また、新たに消防通信指令施設の共同運用という課題もある。加えて、旧神町小学校跡地の利活用の問題もある。これについては北村山地区医師会の協力を得て、私が考えている施設の誘致をぜひ実現したい。

最後に、議員指摘のこみ

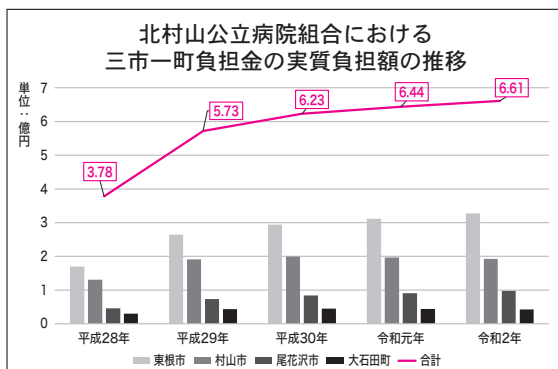
処理における尾花沢市・大石田町を含む広域化については、構成市町における行政の公平感の担保が必要。一方で果たすべき役割もあることから、今後検討すべき課題の一つである。



北村山地域の広域化
話し合う場はあるのか

議員 北村山地域全体の課題について検討する場が必要では。

市長 これまでも北村山広域行政事務組合で検討してきたことから、新たに設ける必要は無いと思っています。一番大事なことは、少子高齢化が予想を超えるスピードで到来している現状



と、三市一町が協力して課題を処理していく合理性をどう両立させていくかである。各首長が共に手を携えて考えていかなければならない問題だと思っている。

議員 北村山公立病院は老朽化が激しく建替えは喫緊の課題であるが、構成市町の負担金も増加傾向である。三市一町が、病院以外の分野で連携する中で北村山地域全体の負担を軽減していく事が重要と考える。

また、北村山全体の課題を計画段階から議論する場の検討を要望する。

政務活動費 令和3年度 収支報告の概要

政務活動費とは？ (東根市の場合)

- ①議員が行う調査研究その他の活動に必要な経費の一部として支給される費用
- ②議員1人あたり年150,000円を限度に支給
- ③会派又は会派に属さない議員（無会派議員）に支給
- ④収支報告書を作成・提出し、残額が生じた場合はすべて市に返還
- ⑤収支報告書に領収書などの添付を義務付け

議会ホームページで領収書も含めすべて公開中！

◆令和3年4月～令和4年3月◆

会派名等	所属議員 (◎代表者)	対 象 議員数	交付額 (円)	支出額 (円)	主な用途	備 考
ひがしね 創 生 会	◎ 白井 健道 清野 忠利 高橋 鉄夫	3	450,000	95,990	・ 森林・林業の活性化についての 講演受講と現地研修 ・ 全国地方議会サミット2021オン ライン受講 ・ 議員NAVI、タブレット端末通信料	【R3.8.4】 ○議会内人事の異動に伴う 所属議員の異動あり。 白井健道 脱会 細矢俊博 入会 ○所属議員数に変更がない ため、交付額も変更なし。
	◎ 高橋 鉄夫 細矢 俊博 清野 忠利	3				
政清・公明	◎ 河村 豊 原田 利光	2	300,000	88,980	・ GIGAスクールの現状の課題とこ れからを探るオンライン研修会 ・ 議員NAVI、タブレット端末通信料	
新会派令和	◎ 東海林克彦 三宅 一人 元木十四男 滝口 公一 高橋 弓嗣	5	750,000	126,836	・ SDGs～持続可能な循環型社会とは「森 林環境の現状とゼロカーボン社会の創造」 ・ 全国地方議会サミット2021オン ライン受講 ・ 5G・IoT・AIコンソーシアム ・ タブレット端末通信料	
ひがしね 市政クラブ	◎ 片桐 勝寿 齋藤俊一郎	2	300,000	60,760	・ SDGsに繋がる林業（モリノミク ス）の調査及び現地視察等 ・ タブレット端末通信料	
自民クラブ	◎ 浅野目幸一 佐藤 直	2	300,000	44,160	・ タブレット端末通信料	
無会派議員	植松 宏	1	150,000	118,580	・ 第52回市町村議会議員研修会 ・ 第53回市町村議会議員研修会 ・ 予算審議特別研修動画セミナー ・ タブレット端末通信料	
無会派議員	山科 幸子	1	150,000	28,080	・ ワードで作るチラシ作成講座 ・ タブレット端末通信料	
無会派議員	白井 健道	1	87,500	62,891	・ 財政の視点から読み解く地方自治の展望 ・ 日経グローバル購読料 ・ 書籍購入料 ・ タブレット端末通信料	【R3.8.4】 副議長就任のため ひがしね創生会を脱会
無会派議員	高橋 光男	1	150,000	41,880	・ 議員NAVI、タブレット端末通信料	【～R3.8.4】副議長 【R3.8.4】議長就任
無会派議員	細矢 俊博	1	62,500	10,280	・ SDGs～持続可能な循環型社会とは ・ 「森林環境の現状とゼロカーボン社会の創造」 ・ タブレット端末通信料	【～R3.8.4】議長 【R3.8.4】 ひがしね創生会に入会

今年度、全国市議会議長会第98回定期総会において本市議会より3名が表彰されました。

議員表彰

〈一般表彰〉◎議員在職10年以上

原田 利光 議員

〈感謝状〉◎令和3年度社会文教委員会委員

細矢 俊博 前議長

高橋 光男 議長



わたしの将来の夢

高崎小学校 6年
齋藤 恋海さん



私の夢は、航空管制官になることです。パイロットに安全な飛行ルートを伝えたり、気象に合わせて指示を出したりすることが仕事です。

私は、航空管制官のドラマを見たり、知り合いの人の話を聞いたりしてなりたいと思うようになりました。

航空管制官になるには、英語でコミュニケーションを取る力が必要です。そのために習っている英語ではオールイングリッシュで話し、慣れるようにしています。そして、自然な発音でコミュニケーションを取れるようにしたいです。

また、航空管制官は、色々な情報から安全な飛行ができるよう考えることも大切です。私は今、委員長として、活動をみんなに参加してもらっためにどうしたらいいかを考えて、行動しています。英語や委員会活動を通して、自分で考え行動し、コミュニケーション力や判断力を身に付けられるように頑張ります。

令和4年第3回定例会 日程のお知らせ

9月16日から
10月11日まで
開催予定

9月16日(金) 開 会
本会議
決算特別委員会
予算特別委員会
26日(月) 本会議 (一般質問)
27日(火) 本会議 (一般質問)
29日(木) 本会議 (総括質疑)
決算特別委員会
予算特別委員会
各常任委員会

9月30日(金) 決算特別委員会各分科会
10月 3日(月) 決算特別委員会各分科会
4日(火) 各常任委員会
11日(火) 決算特別委員会
予算特別委員会
本会議

※日程は、定例会告示後の議会運営委員会を経て、定例会初日の本会議で正式決定します。詳しくは議会事務局にお問い合わせください。

「東根市議会における新型コロナウイルス感染症対策方針」に沿った傍聴にご協力をお願いいたします。

令和4年第2回定例会では、延べ29名の皆様に議会を傍聴していただきました。

編集後記

第2回定例会中、G「東根さくらんぼ」の今季初競りが東京・豊洲市場で行われ、佐藤錦が1キロ130万円で競り落とされ、過去最高値をつけたとの報道がありました。長引くコロナ禍で、沈んでいた空気を一掃してくれる明るいニュースとなりました。

折しも、今年は、東根市発祥の「佐藤錦」が、大正11年の結実から100年目を迎える年であり、その節目に花を添えてくれました。今回特集した「いきいき百歳体操」は、取材に伺った厚生常任委員会委員も会場と一緒に身体を動かし、その効果を実感しました。始めたばかりのグループとの対談の中で話が弾み、6カ月後の効果測定への立ち会いもお誘いいただきました。

議会広報委員会

委員長 高橋 弓嗣
副委員長 植松 宏
委員 滝口 公一
河村 豊
元木 十四男
山科 幸子

問い合わせ
(議会事務局)

TEL (42) 1111 (内線4111) ・ FAX (43) 1178
E-mail: gikai@city.higashine.yamagata.jp

